

奇妙な強盗

- (1) サングラスをかけて変装した 4 人の武装グループが、ドイツの一流銀行にやすやすと押し入って強盗を働いた。
- (2) 奇妙なことに、そのうちの 2 人はかつらや化粧品から女物の服装に至るまでありとあらゆるものを身に着けて女性を装っていた。
- (3) 幸い、その強盗で負傷者は出なかったが、奇妙な格好をした強盗犯たちは、銀行の裕福な顧客たちの貴重品の入った約 200 個の小さな貸金庫の扉をこじあけ、およそ 100,000 ドルの損害をもたらした。
- (4) その日の朝 8 時 30 分ごろに強盗たちが入ってきたとき、銀行のロビーはわずかに混雑しているだけだった。
- (5) 別々の 2 組のカップルになって銀行に入ってくると、突然女性に扮していた男たちが大きなハンドバックから銃を取り出し、残りの男たちは上着から銃を引き抜いた。
- (6) 出納係全員に現金がいっぱい入った持ち場の引き出しの鍵を開けさせると、支配人と一緒に大きな金庫室の中に押し込めた。
- (7) それから泥棒たちは貸金庫の中をくまなく捜し、現金を全てかき集めて約 13 分後に略奪品をもって逃走した。
- (8) これは 1938 年以降ドイツで起こった最大の銀行強盗で、ヨーロッパでは 2 番目に大きなものだった。